

軍需産業と宇宙産業の整備と育成

令和5年11月19日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

現状の軍需産業のばらばらの状況は、防衛政策が、国内軍需産業の計画的な整備と再編を求められるものである。

これらは、全ての軍事物資の国内生産を明確に要求し、これらは時代性に対して対等な自己構築を求められるものである。

また宇宙産業においても、技術格差という現実に対して明確な自己の計画性ととも、その育成を政治判断と共に要求されるものである。

これらは国家安全保障政策の刷り直しを求められるものであり、明確な自己の目標とともに、現実構築を再度要求されるものである。

これらは国内産業の転換や再編とともに、双子の赤字を解消しなくてはいけないのである。

財政における破綻的な状況は、無借金という健全性への転換を明確に提案するものである。

これらはいかなる状況にあっても、政治のプレゼンスは現実を与えるものなのである。

これらは自由貿易体制と現状の為替水準におけるアドバンテージを最大限利用し、新たな産業政策とともに、国内の転換を提示するものである。

これらは明確に次世代という新たな現実への参加を行うものであり、大学機関における新しい自己基準や政治における新たなコンセンサスとともに、現状の困難な状況への対処を提案するものである。

現状の永続は不可能であるという認識は、変化という現実を政治が率先して行うことを提案するものである。

これらは官僚組織における真摯な討議と計画の作成を求め、政治判断とともに、現実への正しい判断と行動における新たな国家を求めることができるのである。